

美浜発電所後継機の自主的な現地調査計画の策定

2025年9月17日
関西電力株式会社

当社は、2011年3月12日以降見合わせていた美浜発電所の後継機設置検討の自主的な現地調査を再開することとし、調査実施に向けて、今後、地元の皆さまへのご説明等を進めることを公表しました。

([2025年7月22日](#) お知らせ済み)

当社は、この度、調査計画を策定しましたのでお知らせいたします。

具体的には、まずは概略調査として、発電所の敷地内外を幅広く調査し、地質の概況を踏まえ、より優位なエリアを選定します。

詳細調査では、選定したエリアにおいて、地形や地質の状況を把握し、原子炉等の設置に適した地質・地盤であるかを確認します。これらの調査を2030年頃までに実施する予定です。

今後、準備が整い次第、調査を開始する予定であり、引き続き、地元の皆さまには、丁寧にご説明してまいります。

なお、後継機設置の判断にあたっては、本調査の結果に加え、革新軽水炉の開発状況や規制の方針、さらに投資判断を行う上での事業環境整備の状況を総合的に考慮する必要があるため、本調査の結果のみをもって後継機設置を判断するものではありません。

当社は、引き続き、安全最優先で原子力発電所の安全・安定運転に全力で取り組むとともに、地元をはじめとする皆さまのご理解を賜りながら、原子力発電事業を推進してまいります。

以 上

別紙：調査計画の概要

調査計画書については、[こちら](#) をご覧ください。

調査目的

- 新規制基準の要求事項（将来活動する可能性のある断層等の認定等）を確認する。
- まずは概略調査として、発電所北側エリアおよび発電所南側エリアにおいて、地表面の地質の分布や将来活動する可能性のある断層等の有無を調べるために、ボーリング調査、弾性波探査、地表踏査を行い、地質の概況を踏まえ、より優位なエリアを選定する。
- 次に詳細調査として、選定したエリアにおいて、地形や地質の状況を把握し、原子炉等の設置に適した地質・地盤であるかを確認するために、試掘坑調査、弾性波探査、深浅測量、ボーリング調査、地震に関する調査を行う。

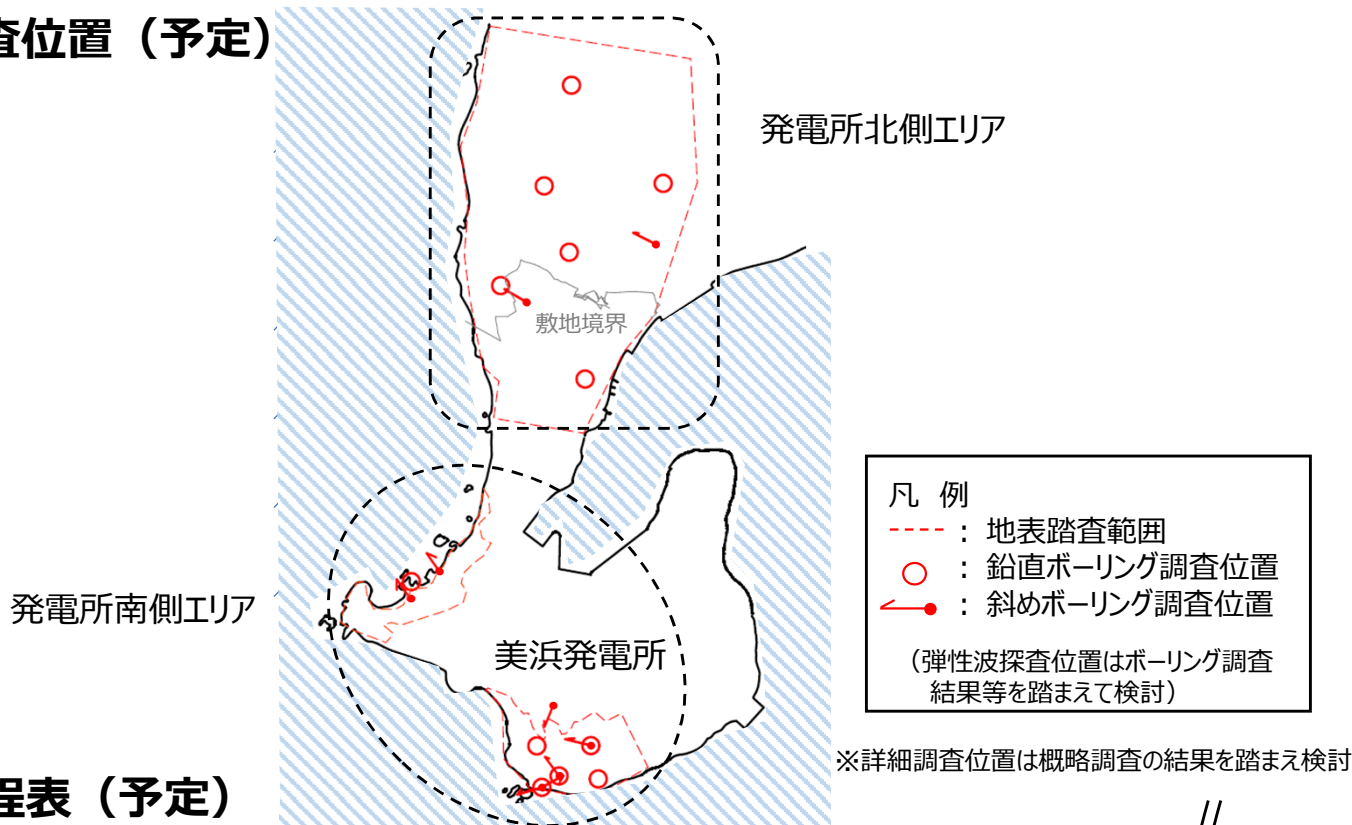
調査項目

- 概略調査：ボーリング調査、弾性波探査、地表踏査
 - 詳細調査：試掘坑調査、弾性波探査、深浅測量、ボーリング調査※、地震に関する調査
- ※概略調査の結果を踏まえて必要に応じて実施

実施期間（予定）

- 概略調査：（自）2025年11月（至）2027年3月
- 詳細調査：（自）2027年4月（至）2029年～2030年

概略調査位置（予定）



調査工程表（予定）

調査項目	2025年		2026年												2027年						2029~2030年			
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	-			
概略調査	現地調査																							
・ボーリング調査			分析・評価																					
・弾性波探査																								
・地表踏査																								
詳細調査																								
・試掘坑調査																								
・弾性波探査																								
・深浅測量																								
・ボーリング調査※																								
・地震に関する調査																								
詳細調査計画検討														現地調査および 分析・評価										

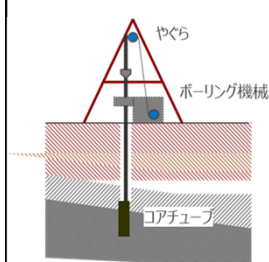
※概略調査の結果を踏まえて必要に応じて実施

概略調査

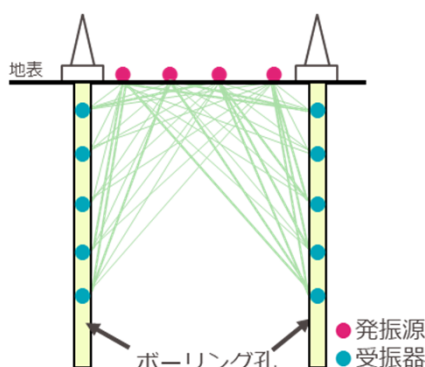
原子炉等の設置に適した地質、地盤であるか等を確認するため、陸域及び海域のボーリング調査・弾性波探査・地表踏査により地質の状況を概略把握する。

- ボーリング調査
ボーリングマシンにより、地盤を構成する岩石などを棒状に採取し、試料を観察・試験して地中の地質状況や岩石の性状を確認する。
- 弾性波探査
地盤中の微小な振動の伝わる速さを計測し、地盤の硬さの分布を確認する。ボーリング孔を利用し複数の探査測線を組み合わせることで、広く地質・地盤の状況を把握する。
- 地表踏査
地質などを観察・記録し、地表面の地質の分布状況を詳しく調べる。

ボーリング調査 (イメージ)



弾性波探査 (イメージ)



地表踏査 (イメージ)



詳細調査

原子炉等の設置に適した地質、地盤であるか等を確認するため、試掘坑調査、弾性波探査、深浅測量及び地震に関する調査により地形・地質の状況を詳細把握する。

なお、概略調査の結果次第では、追加でボーリング調査を実施する可能性がある。

- 試掘坑調査
2 m程度の坑道を掘削し、地盤を構成する岩石などを面的に把握し、試料を観察・試験して地中の地質状況や岩石の性状を確認する。
- 弾性波探査
地盤中の微小な振動の伝わる速さを計測し、地盤の硬さの分布を確認する。試掘坑等を利用し複数の探査測線を組み合わせることで広く地質・地盤の状況を確認する。
- 深浅測量
海域については、深部は調査船に取り付けた測深機により、浅部は現地測量により、海底の地形を測量する。
- 地震に関する調査
地震計を設置して地震等を観測し、記録の分析を行う。

試掘坑調査 (イメージ)



深浅測量 (イメージ)



地震に関する調査 (イメージ)

